

保安検査の方法としての民間規格に関する意見募集（パブリックコメント）について（案）

一般社団法人 日本溶接協会
設備技術規格評価委員会
委員長 菅田 淳
(公 印 省 略)

設備技術規格評価委員会では、コンビナート等保安規則（昭和 61 年通商産業省令第 88 号）第 49 条の 7 の 13 第 5 項第 3 号に基づく保安検査の方法としての民間規格を評価しました。

以下の内容をご確認いただき、本件についてご意見のある方は理由を付して文書にてご提出ください。

1. 意見募集対象となる民間規格

WES 9801:2025

「特定認定高度保安実施者による保安検査基準（コンビナート等保安規則関係）」

Safety inspection standards by Specifically Certified Advanced Safety Implementer

2. 民間規格の概要

(1) 民間規格の作成団体

一般社団法人 日本溶接協会 圧力設備サステナブル保安部会 規格原案作成委員会

(2) 民間規格の策定趣旨

API 及び ASME 規格の維持管理手法について保安検査基準として適用するために技術的な整理を進め、次の a) 及び b) について、WES 9801:2024（初版）に反映するとともに、一部補足事項を追記した。

a) 当て板溶接補修

b) 安全弁の検査方法

(参考) 初版制定時の趣旨

a) KHKS 0850-3 を基に国際的に広く活用されている米国石油協会（American Petroleum Institute, API）規格及び米国機械学会（American Society of Mechanical Engineers, ASME）規格の維持管理手法を取り入れる。

b) 保安検査における検査項目の中で、圧力設備の検査に係る技術的な検査項目について、その技術的な根拠、背景、海外規格など民間規格の活用方法に対しては、WES 9802 を適用する。

c) 圧力設備の検査に係る技術的な検査項目以外の検査項目については、KHKS 0850-3 を引用して構成する。

(3) 民間規格の規定内容

a) 高圧ガス保安法の省令等に規定されている技術基準との対応関係は、箇条 6 の表 1 に示している。

b) 保安検査の方法は、附属書 A に規定している。

3. 技術評価書

技術評価書および関連資料は、設備技術規格評価委員会（民間規格評価機関）ホームページのパブリックコメント（<https://www.jwes.or.jp/committees/escc/public-comment/>）に掲載しております。

4. 意見募集期間

2025 年 9 月 日 () ~ 2025 年 10 月 日 () 【30 日間】

5. 意見提出方法

意見記入様式 (<http://・・・>) に必要事項を日本語で記載のうえ、以下のいずれかの方法により (一社) 日本溶接協会 設備技術規格評価委員会 事務局まで送付してください。

- ・ FAX の場合 : 03-5823-5244
- ・ 郵送の場合 : 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 4 -20
- ・ 電子メールの場合 : jwes_esc@jwes.or.jp

なお、FAX、電子メールの場合は、意見募集期間の最終日午後 5 時まで、郵送の場合は同日必着とします。
電話によるご意見の提出には対応しかねますので、あらかじめご了承ください。

6. 民間規格の承認予定日

未定。

なお、意見募集の結果、寄せられた御意見に対する対応を設備技術規格評価委員会で検討した後、その対応を含めて、プロセス評価委員会における全体評価の審議結果にもとづき承認可否を判断する予定です。

7. 注意事項

- (1) お寄せいただいた御意見については、個別の回答はせず、検討結果をまとめてホームページにて公表いたします。
- (2) 収集した個人情報につきましては、パブリックコメントの審議、対応についてのご連絡以外に使用することはありません。なお、氏名及び所属に関しては、いただいたご意見とともに公表する場合がありますことをご了承ください。
- (3) 氏名、法人・団体名称、住所、電話番号及びメールアドレス等を除き、いただいた御意見はすべて公開される場合がありますことをあらかじめご了承ください。ただし、ご意見中に、個人に関する情報であって特定の個人を識別し得る記述がある場合及び法人等の財産権等を侵害する恐れがある場合には、当該箇所を伏せて公開させていただきます。

以上